

中国道教像研究

さいとう りゅういち
齋藤龍一 著
▼B5判・上製カバー・294頁 定価 11,000円

2024年3月刊行



知られざる道教像の全貌を、時代性という縦軸と地域性という横軸をもとに、仏像との関連性を踏まえ、多くの図版を示しながら解明した、日本初の道教研究書。

【目次】

カラー口絵

第一章 序論

はじめに／一 道教像に関する研究史／二 問題の所在／三 道教像の出現／四 初期道教像のすがた／五 道教像の代表例と定型化／おわりに

第二章 陝西「酈県様式」仏像・道教像

——南北朝時代北魏・西魏

はじめに／一 平行多線文造像とは／二 平行多線文造像の分布／三 平行多線文造像の出現／おわりに

第三章 維摩像と道教像の影響関係と地域性

——南北朝時代北魏・北斉・北周

はじめに／一 凭几とは／二 雲岡石窟（遷都以前）および龍門石窟における維摩像の図像的変遷と凭几の出現／三 南北朝時代後期における凭几を伴う維摩像の展開／四 南北朝時代後期における凭几を伴う道教像の出現／五 南北朝時代後期における凭几を伴う道教像の分布／六 維摩像と道教像の図像的関連／おわりに——凭几を伴う図像のその後

第四章 道教像の地域性——隋時代

はじめに／一 山西西南部／二 陝西・西安とその近郊／三 四川および重慶／おわりに

第五章 仏像・道教像の地域間交流論——唐時代

はじめに／一 山西・芮城出土道教三尊像／二 陝西・潼關出土如来三尊像／三 基壇部に小龕を設け供養者像を表す形式の三尊像／おわりに

第六章 道教像の展開と地域性——唐時代

はじめに／一 道教像の分布とその特徴——唐時代前半を中心に／二 石造大型道教像の出現——玄宗治世下における道教像の特質／三 道教像における主尊像の多文化と三清像の萌芽——唐時代後半の動向／おわりに

第七章 結論——中心なき地方性の諸相と仏像との影響関係

一 各章の概要／二 南北朝時代から唐時代における道教像の特質

あとがき

図版出典一覧

中文摘要

索引

◆著者略歴

齋藤龍一（さいとうりゅういち）

一九七一年東京生まれ。成城大学文学部芸術学科卒。北京大学考古学系留学をへて、成城大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。博士（学術）。一九九九年より大阪市立美術館、彫刻担当学芸員。主な担当展覧会に「大唐王朝 女性の美」「道教の美術」「北魏 石造仏教彫刻の展開」「仏像 中国・日本」。主な論文に、「中国南北朝時代の敦煌莫高窟における中心柱窟の展開」「中国南北朝時代の酈県様式」仏教・道教造像に関する再検討」「中国南北朝時代における維摩像の展開と地域性——道教像との図像的関連に注目して——」など。

注文書

(書店印)

ご担当

様冊

法藏館 定価 11,000円
齋藤龍一 著

中国道教像研究

ISBN:978-4-8318-6333-4 C3071

住所

お電話

お名前

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

芸術・中国美術